



宮崎ミツエさん (折地区)

長洲町民生委員・児童委員協議会
会長

10月に富山県で行われた「第84回全国民生委員児童委員大会」において、長洲町民生委員・児童委員協議会の宮崎ミツエさんが「永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰」と「永年勤続民生委員・児童委員表彰」を受賞した。

宮崎さんは、平成7年に民生委員・児童委員の委嘱を受け、平成22年からは長洲町民生委員・児童委員協議会の会長として、これまで地域のために情熱を注いできた。

「初めて委嘱されたときは、周りの民生委員の皆さんと比べて若かったし、なかなか自信が持てなかった」という宮崎さん。それでも、地域の思いを吸い上げて、行政とのパイプ役として一生懸命に取り組んできたことで、多くの出会いが生まれてきた。

「この仕事をしていて、「あの時は、ありがとう」とお礼を言われるとすごくうれしい。地域の皆さんに色々と感謝されることが、民生委員としてのやりがいにもつながる」と笑顔で話す。

だが、民生委員の仕事は、様々なケースに対応していかなければ

ならず、気苦労も多い。

「それでも、やりがいのあることなので、苦勞には感じない。活動することが自分の役割であるし、大変だったことも、過ぎ去ってしまえばすべていい思い出」と、つらさは全く感じさせない。

民生委員として、歩きつづけてきたこの20年。

「これまで、一生懸命取り組んでこられたのも、家族の理解があったからこそ」と心から感謝の気持ちを話す宮崎さん。

「高齢社会になり、地域での見守りの必要性も大きくなっていく。これから、もっと民生委員の存在をPRして次世代へと繋ぎ、一人で抱え込まず、みんなで分担して町全体で見守る体制を創っていきたい」と力強く話す。

平成29年には、全国民生委員児童委員連合会が設立してから100周年を迎える。

全国的に少子高齢社会となり、民生委員・児童委員の必要性が高まる中、宮崎さんの地域への熱い思いと活動は、これからも続く。

